

消費が多い「さば」「いわし」「あじ」「たい」

1世帯当たりの魚介類の年間購入数量を比較した都市ランキングをみると、九州での漁獲量が多い「さば」「いわし」「あじ」のほか、「たい」や「あさり」で、九州内の各都市が10位以内に多く入っています。一方で、「まぐろ」などは、他の地域ほど購入されていません。

水産物は鮮度が落ちやすいため、家庭で調理する鮮魚（生の魚）以外に、さまざまな加工品にも利用されています。特に「かつお節」については、鹿児島県だけで全国の70%以上を生産しています。

■ 二人以上世帯 魚介類年間購入数量品目別都市ランキング¹⁾ (平成30～令和2年平均)

生鮮魚介²⁾

単位：g

	さば	いわし	あじ	まぐろ	かつお	ぶり	たい	あさり
全国	908	590	866	1,963	806	1,630	463	724
1	鹿児島市 1,637	鳥取市 1,443	長崎市 3,129	静岡市 4,876	高知市 4,108	富山市 4,109	佐賀市 1,501	長崎市 1,067
2	松江市 1,473	北九州市 1,240	松江市 2,037	甲府市 3,542	仙台市 1,928	金沢市 3,293	熊本市 1,191	静岡市 1,025
3	鳥取市 1,311	青森市 1,180	佐賀市 1,979	宇都宮市 3,217	福島市 1,526	高知市 2,758	松山市 1,048	大分市 1,022
4	宮崎市 1,296	長崎市 980	山口市 1,819	前橋市 3,061	水戸市 1,485	鳥取市 2,685	長崎市 1,040	津市 998
5	山口市 1,290	大分市 956	宮崎市 1,767	福島市 2,875	山形市 1,416	津市 2,524	大阪市 983	長野市 964
6	長崎市 1,266	松江市 919	大分市 1,704	相模原市 2,804	松山市 1,248	松江市 2,496	鹿児島市 976	千葉市 915
7	和歌山市 1,257	鹿児島市 917	鹿児島市 1,392	川崎市 2,798	徳島市 1,218	大津市 2,430	福岡市 953	浜松市 899
8	佐賀市 1,158	秋田市 895	神戸市 1,356	津市 2,782	盛岡市 1,168	高松市 2,360	大津市 928	甲府市 888
9	北九州市 1,153	山口市 820	福岡市 1,297	千葉市 2,741	浜松市 1,144	福井市 2,332	北九州市 913	佐賀市 886
10	大分市 1,123	金沢市 815	北九州市 1,292	東京都区部 2,680	高松市 1,123	長崎市 2,307	京都市 880	北九州市 878

水産加工品

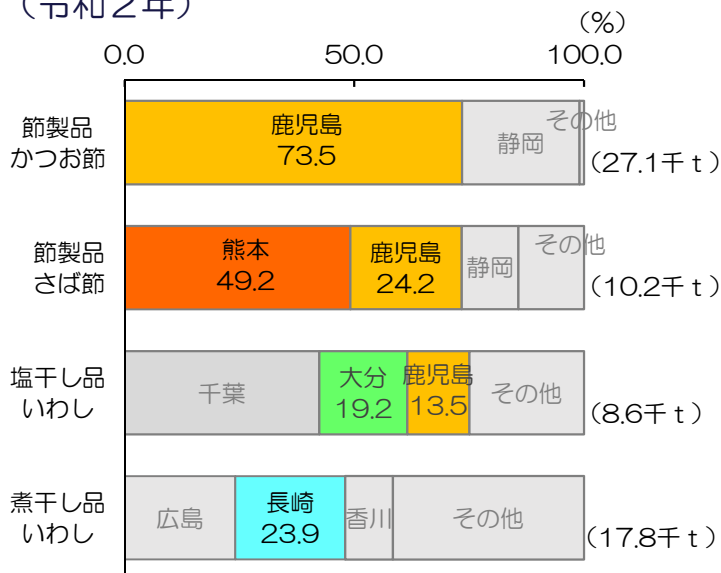
単位：g

	塩さけ	たらこ	かつお節・削り節
全国	1,343	675	223
1	新潟市 3,079	青森市 1,487	那覇市 944
2	盛岡市 2,780	福岡市 1,342	静岡市 357
3	山形市 2,612	秋田市 1,257	堺市 347
4	福島市 2,463	北九州市 1,156	浜松市 316
5	秋田市 2,393	山形市 1,052	鹿児島市 315
6	青森市 2,295	新潟市 1,052	高知市 312
7	仙台市 2,102	札幌市 937	奈良市 282
8	水戸市 2,068	長野市 918	大阪市 274
9	長野市 1,986	福島市 889	相模原市 251
10	富山市 1,959	前橋市 869	津市 250

資料：総務省「家計調査（家計調査（二人以上の世帯）品目別都道府県庁所在地市及び政令指定都市ランキング（2018年（平成30年）～2020年（令和2年）平均）」

注：購入数量上位10都市を抜粋しています。

■ 水産加工品の九州の生産割合が高い品目 (令和2年)



資料：農林水産省統計部「水産加工統計調査」
注：()内の数値は、各製品の生産量の全国計です。

注：1) 都市ランキングは、都道府県庁所在地市に政令指定都市（川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市）をあわせた、52都市におけるランキングです。

2) 生鮮魚介は、保存のための加工がされていないもので、冷凍・洗浄・切断・不要物の除去などの最低限の加工を加えたものを含みます。「さば」～「たい」は鮮魚であり、刺身・切身（フィレ）を問いません。また、「あさり」は、殻付き、むき身を含み、ゆで、蒸しも含まれます。